

令和3年8月26日掲載

熊本日日新聞 読者の広場「若者コーナー」

1年 宮崎 芙美 (みやざき ふみ) さん

タイトル：「時と場と言葉整える大切さ」

私は、体験活動教室を終えて、主に二つのことを学びました。

一つ目は当たり前の日常にも感謝の心を持つということです。近年は、新型コロナウイルスの影響でいろいろな行事ができない状況にあります。

この体験活動教室も、本当は1泊2日の予定で計画されていましたが、先生方や青年の家の方々の協力で、中止にならず、日帰りで体験をすることができました。

私たちがこの活動をするために、多くの人たちが動いてくださったことを知り、とてもありがたかったです。おかげで、今回の活動はとても有意義なものとなりました。

当たり前の日常は、多くの人たちの支えがあって成り立っていることを改めて知り、感謝の心を忘れずに過ごそうと思いました。

二つ目は「整える」ことです。私は、「時」を整えることを意識して活動しました。時間を守って行動すると、次の活動にスムーズに入ることができ、活動を楽しむことができました。

また、「場」と「言葉」を整えると、自分も相手も気持ちよくなり、みんなで協力しながら活動することができました。

体験活動教室で学んだことを生かして、これからの学校生活を充実したものにしていきたいです。